

施工例



東京都練馬区北町地内(国道254号)
施工日:2013年1月 撮影:施工後 約14ヶ月



埼玉県和光市新倉地内(一般国道254号)
施工日:2012年7月 撮影:施工後 約19ヶ月



埼玉県深谷市尼市西大沼地内(福川)
施工日:2011年9月 撮影:施工後 約19ヶ月

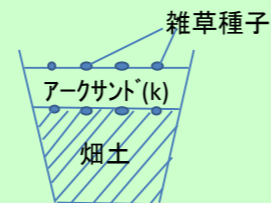


埼玉県入間郡越生町大字越生東他
施工日:2012年7月 撮影:施工後 約12ヶ月

宇都宮大学雑草科学研究センターによる予備実験

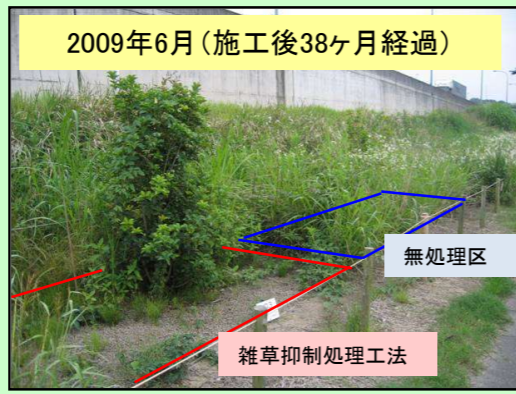
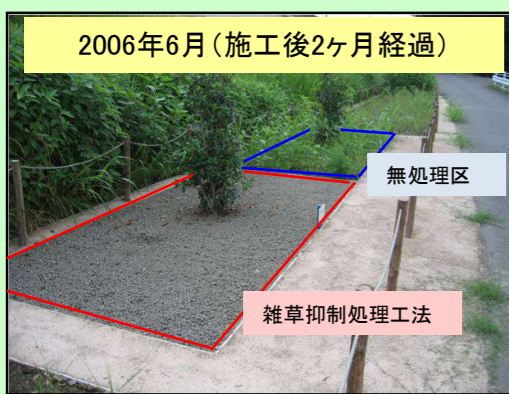


ポットの下部に畑土、上部にアーグサンド(k)を敷き、内部と表面に雑草の種をまいて効果の確認をしました。敷均し厚10cmで、アーグサンドのポットはほとんど発芽が見られませんでした。畑土のみの場合と比較すると雑草抑制の効果は歴然です。



(※左写真は、種まき後1ヶ月の状況です。 撮影:2009年月4日8日)

フィールド実験 国道4号線バイパス栃木県下野市内



グリーンコントロール・エコシステム

雑草抑制処理工法

～焼却灰リサイクル砂による雑草抑制～



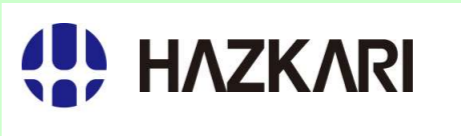
埼玉県坂戸市石井地内
施工日:2013年2月 撮影:施工後 約15ヶ月



東京都文京区千石(国道17号)
施工日:2012年2月 撮影:施工後 約53ヶ月

◇埼玉県エコアップ認証事業所◇
初雁興業株式会社
<http://www.hazkari.co.jp>

〒350-0815 埼玉県川越市大字鯨井1705-2
初雁興業株式会社
土木部環境事業推進担当 國分、畑
TEL:049-231-1279 FAX:049-231-8109



グリーンコントロール・エコシステムとは・・・

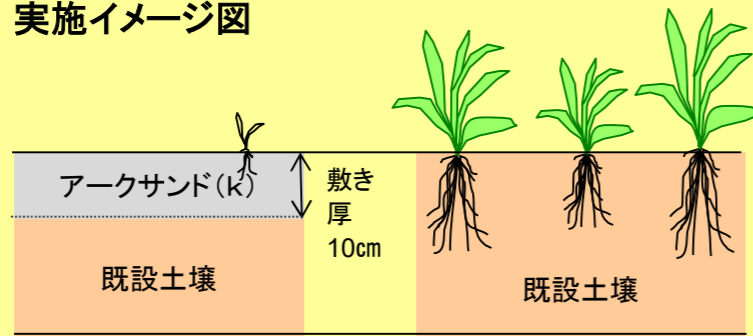
雑草が生えて欲しくない地面に、焼却灰リサイクル砂「アークサンド(k)」を厚さ10cmに敷き均すだけで雑草の生えにくい環境をつくれる工法です。

従来は、除草剤などの化学合成物質や人力による草刈り作業等に対応されてきたが、この工法を用いることで、維持管理費及び労力の低減が期待できます。

<利点>

- ・草刈りを必要としない地面となる
- ・維持管理コスト削減
- ・生えても抜き取りが簡単
- ・焼却灰の再生利用に貢献
- ・埋立施設の延命化

実施イメージ図

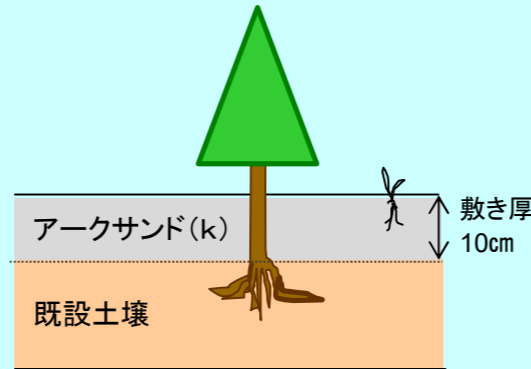


○実施の例 植樹樹

植木がある場合でも、植木の根をアークサンド(k)の下に施工するので成長に影響はない。

雑草を抑制することで、植え木が養分を独占でき、元気に育つ。

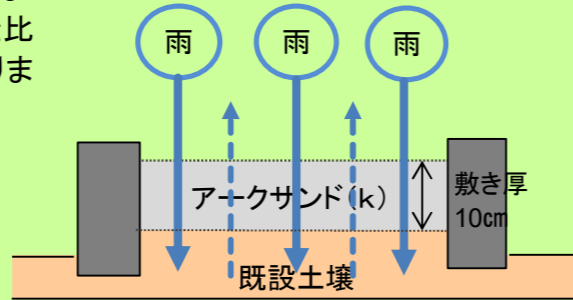
同時期に植栽する場合は幹高1m以上にし、根はアークサンド下の既存土壌部分に確実に植える。



○実施の例 中央分離帯

雑草が抑制されるため、維持管理を減らすことができます。また、コンクリートや防草シート等による雑草対策と比較して水分の吸収、蒸発が自由であるという利点もあります。

- 草刈等の維持管理による弊害の解消
- ・交通規制による渋滞の低減
- ・渋滞に伴い排出されるCO2量の削減



アークサンド(k)とは・・・

一般の家庭から出たゴミ等の焼却灰を再度焼成することで無害化してできた再生砂です。

<特徴>

- 粉が少ないのでホコリがちにくい。
- 無機質多孔資材であるため、雑草の抑制効果を発揮します。
(「無機質多孔資材の雑草抑制メカニズム」参照)
- 土壌環境汚染基準をクリアしているので、土壌および植物に影響はありません。



製造元:ツネイシカムテックス(株)埼玉工場 販売元:初雁興業(株)

施工手順

【前処理】

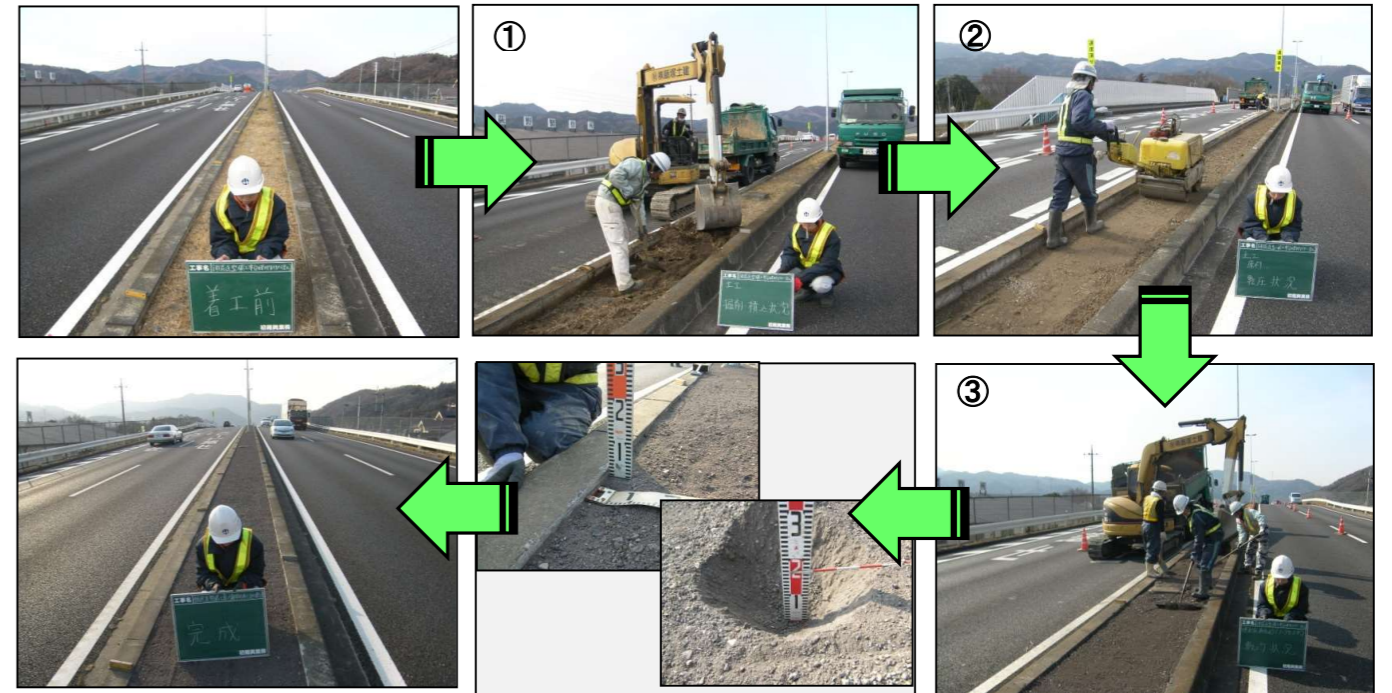
- ・施工前に現地の植生状況を調査します。
- ・必要に応じて草刈り、徐根作業を行います。

※注意※

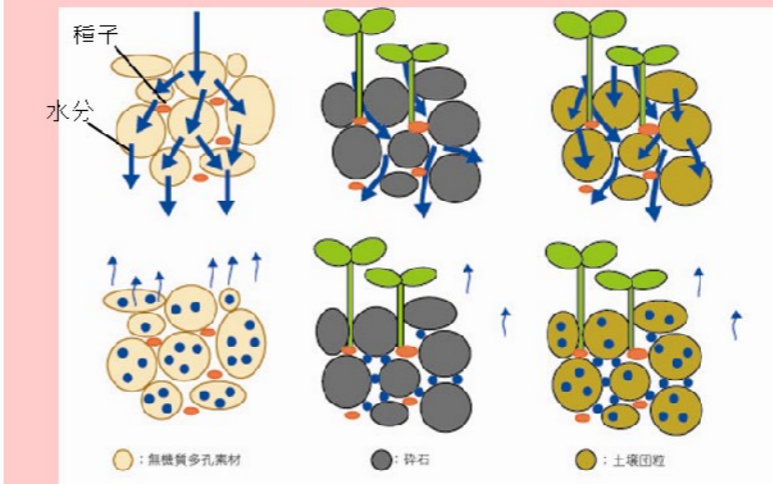
本工法は、完全に雑草が生えない環境を形成するものではなく、乾燥化により発芽及び成長を抑制する効果があるものです。すなわち、スギナ、ササ類、タケ類、ススキ、ヨシ、ドクダミなどの地下茎を有する多年生雑草は本技術の対象外となります。生育が確認された場合は、確実な抜根処理を施す必要があります。

【施工方法】

- ①土壌を10cmすき取ります。(完成時の地盤高さに応じてすき取る。降雨による流出を防止するため、外周構造物より1cm下がりで仕上げる。)
- ②敷設面を均し、転圧を行います。
- ③アークサンド(k)を10cmの厚さで敷き均します。(アークサンド(k)を転圧する必要はありません。)



アークサンド(k)の雑草抑制メカニズム (監修 宇都宮大学雑草科学研究センター小笠原教授)



○雑草の種子は、降雨による水分と土壌に含まれる養分を吸収し、発芽、成長します。

○アークサンド(k)は、無機質で、吸水性が高いため、種子は発芽に必要な水分や養分を吸収することができず、アークサンド(k)上では発芽しにくくなります。